

令和4年度 面的評価結果

【概要】

騒音規制法の規定に基づき、市内幹線交通を担う道路における自動車騒音の状況を常時監視するため、評価対象区間について騒音の環境基準を超える住居等の割合を把握する「面的評価」を実施しています（平成24年～）。

令和4年度に、以下の通り面的評価を実施したので、公表します。

1.今年度対象路線

路線名	評価単位区 間番号	評価区間延長 (km)	騒音測定点	環境基準類型
一般国道469号	11720	1.1	須山	B
	11730	0.8	須山	B
東名高速道路	300	3.7	御宿	B

2.騒音測定結果

路線名	評価単位 区間番号	騒音 測定点	騒音測定 レベル(dB)		環境基準値		環境基準適合状況 ○:適合 ×:不適合	
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間
一般国道469号	11720	須山	61	50	70dB 以下	65dB 以下	○	○
	11730	須山	63	53			○	○
東名高速道路	300	御宿	63	57			○	○

3.騒音に係る環境基準と地域類型指定

地域類型	基準値		該当地域
	昼間	夜間	
A	55dB 以下	45dB 以下	第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、 第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域
B	55dB 以下	45dB 以下	第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、 市街化調整区域
C	60dB 以下	50dB 以下	近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

4.道路に面する地域の騒音に係る環境基準

地域の区分	基準値	
	昼間	夜間
A地域のうち 2車線以上の車線を有する道路に面する地域	60dB以下	55dB以下
B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域及び C地域のうち車線を有する道路に面する地域	65dB以下	60dB以下

＊幹線交通を担う道路に近接する空間については、上表に関わらず、次表のとおりとする。

基準値	
昼間	夜間
70dB以下	65dB以下

【結果】

裾野市全体の評価対象道路に面する地域に立地している住居等(3,169戸)を対象に行った。

データを集計した結果、昼間（6 時～22 時）及び夜間(22 時～6 時)とも環境基準値以下であったのは全戸数3, 169戸に対し3, 041戸(96. 0%)、昼間のみ基準値以下であったのは72戸(2. 3%)、夜間のみ基準値以下であったのは14戸(0. 4%)、昼間・夜間とも基準値を超過したのは42戸(1. 3%) であった。詳細は下記のとおり。

1.面的評価(全体)

表1 令和4年度 裾野市全体面的評価結果

	昼間・夜間とも基準値以下		昼間のみ基準値以下		夜間のみ基準値以下		昼間・夜間とも基準値超過	
	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)
全戸数(3,169戸)	3,041	96.0	72	2.3	14	0.4	42	1.3
近接空間(1,223戸)	1,154	94.4	42	3.4	12	1.0	15	1.2
非近接空間(1,946戸)	1,887	97.0	30	1.5	2	0.1	27	1.4

* 近接空間：道路端からの距離が 15m(2 車線以下の車線を有する幹線交通を担う道路)もしくは 20m(2 車線を越える車線を有する幹線交通を担う道路)までの空間。
* 非近接空間：近接空間の範囲を超える空間。

2.面的評価(路線別)

今年度騒音測定を実施した対象路線の結果の詳細は下記のとおり。

表2 令和4年度 評価対象路線面的評価結果

路線名	評価単位 区間 番号	全体	昼間・夜間とも基準値以下		昼間のみ基準値以下		夜間のみ基準値以下		昼間・夜間とも基準値超過	
		戸数	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)	戸数(戸)	割合(%)
一般国道469号	11720	40	40	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	11730	44	44	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
東名高速道路	300	393	353	89.8	20	5.1	0	0.0	20	5.1